

# 蕨 9 広報WARABI

2009/平成21年  
わらび・695

- 平成21年9月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km<sup>2</sup>
- 8月1日現在人口：71,887人 前月比 -2人  
男 36,751人 女 35,136人  
世帯数：35,565  
人口密度：14,095人/km<sup>2</sup>



歩みつづけて50年 蕨に笑顔 輝く未来



## タイヤぶらんこなんて初めて 塚越地区で初のプレーパーク

東公民館の主催で、8月25日の塚越公園は、自由な外遊びが楽しめるプレーパークに早変わり。タイヤやダンボール、ロープなどを使って遊び放題です。「もっと押して」、「目が回る～」と、タイヤぶらんこに熱中する子どもたちなどで、1日中、大いににぎわいました。

## 目次

- 国際青少年キャンプ……………2
- 高齢者特集……………4
- レポート そこが知りたい…8
- まちの話題……………9
- 親と子のニュースの小窓…10
- 50周年記念事業……………11
- わが家のアイドル……………11
- 輝いていま ひと……………12



市制施行50周年記念事業  
2009年国際青少年キャンプinわらび



アメリカ・  
エルドラド郡



蕨市  
群馬県片品村  
長野県川上村



ドイツ・  
リンデン市

青少年の心に刻まれた  
～友情のきずな～

7月30日～8月9日に「2009年国際青少年キャンプinわらび」を開催。ここ2、3年では、13歳から17歳までの青少年たちが、言葉の壁を乗り越え、心と心の交流を深めた様子を写真でご紹介します。



手を取り、助け合いながら登る姿も。そして、午後はバーベキューの支度。まき割りや火おこしにも挑戦です。カレーや焼きそばなど、全員が協力して作ったメニューは計11品。あつという間に完食です。夜は各地域の「お国自慢発表会」。生まれ育ったまちの紹介をはじめ、二人羽織やダンス、歌など得意なものを披露。蕨の参加者による「よさこいソーラン節」は、大いに会場を盛り上げてくれました。

3日目の8月5日は、山荘近くの芝生でスポーツ大会。4つの混合チームに分かれ、デカパン競争やムカデ競争などで順位を競い合いました。最下位のチームは優勝チームに顔を落書きされるという罰ゲームもあって、みんな必死。各チームが一丸となって優勝を目指しました。昼食後は日本の文化紹介。慣れない手つきで折り紙を折ったり、筆で自分の名前を書いてみたりと、和やかなひととき。日が沈み、辺りが暗くなったころに始まったキャンプファイヤー。大きく燃え上がる炎を囲みながらのダンスや歌などで気分は最高潮。最後にみんなで踊った「よさこいソーラン節」は、3つの国の結びつきをよりいっそう強くしました。

キャンプ最終日の8月6日。キャンプに参加した各地域の名前を刻んでこの地に立てた「国際青少年キャンプ」の看板に、みんなの再会を固く誓って山荘を後にする青少年たち。国や地域を越え、心の交流を大きくはぐくんだ山荘での経験が、これからの人生を切り開く力、そして、未来に平和をつなぐ、新たな力の輪を芽生えさせてくれた4日間となりました。

青少年たちが国際的な視野と理解を広げ、世界平和への懸け橋となることを願う「2009年国際青少年キャンプinわらび」は、姉妹都市アメリカ・エルドラド郡と、友好都市ドイツ・リンデン市との3か国同時交流として、7月30日から8月9日まで開かれました。エルドラドとリンデンの皆さんを歓迎するオープニングセレモニーをはじめ、蕨の歴史に触れる市内散策や自然の中のキャンプ交流、横浜開港150周年記念博覧会の見学などを通じ、お互いの触れ合いを深めていった青少年たち。8月8日の「さよならパーティー」では、涙をこらえ、別れを惜しむ姿がありました。文化や習慣の異なる青少年たちの心を一つにした11日間。なかでも、長野県川上村の「信濃わらび山荘」を舞台に開かれたキャンプは、友情のきずなを青少年の心に深く刻んだようです。

8月3日、キャンプ初日。この日から交流事業に参加の川上村と「ふれあい交流協定」を結ぶ、群馬県片品村の青少年が、蕨からやって来る一行を山荘で出迎えてくれました。総勢60人を超す参加者で入村式が開かれ、キャンプは盛大な幕開けに。その後の自由時間では、青少年みずからサッカーやバレーボールなどで、お互いの名前を知る機会を作りました。夕食後のお化け大会では、各国混合のグループが、不気味な夜の山道を散歩。悲鳴や笑い声も飲み込む暗闇のなかで、お互いの心の距離を縮めていきました。

8月4日の午前は、高登山へ、ハイキング。足場の悪い場所では、お互いに

文

少年たちが国際的な視野と理解を広げ、世界平和への懸け橋となることを願う「2009年国際青少年キャンプinわらび」は、姉妹都市アメリカ・エルドラド郡と、友好都市ドイツ・リンデン市との3か国同時交流として、7月30日から8月9日まで開かれました。エルドラドとリンデンの皆さんを歓迎するオープニングセレモニーをはじめ、蕨の歴史に触れる市内散策や自然の中のキャンプ交流、横浜開港150周年記念博覧会の見学などを通じ、お互いの触れ合いを深めていった青少年たち。8月8日の「さよならパーティー」では、涙をこらえ、別れを惜しむ姿がありました。文化や習慣の異なる青少年たちの心を一つにした11日間。なかでも、長野県川上村の「信濃わらび山荘」を舞台に開かれたキャンプは、友情のきずなを青少年の心に深く刻んだようです。

8月3日、キャンプ初日。この日から交流事業に参加の川上村と「ふれあい交流協定」を結ぶ、群馬県片品村の青少年が、蕨からやって来る一行を山荘で出迎えてくれました。総勢60人を超す参加者で入村式が開かれ、キャンプは盛大な幕開けに。その後の自由時間では、青少年みずからサッカーやバレーボールなどで、お互いの名前を知る機会を作りました。夕食後のお化け大会では、各国混合のグループが、不気味な夜の山道を散歩。悲鳴や笑い声も飲み込む暗闇のなかで、お互いの心の距離を縮めていきました。

8月4日の午前は、高登山へ、ハイキング。足場の悪い場所では、お互いに





きれいな庭園を眺めながらのお茶やおしゃべりは格別。そんないやしの空間に色どりを与えてくれる花々。手入れをしてくれているのは大石利夫さん(右写真左)。いっしょに花を育ててくれる、「みどりのボランティア」を募集しています



書道・ペン習字の教室は、楽しむことをモットーに活動。教室の中にもにっこり笑顔がいっぱいです。廊下にはられた作品に、通りがかる人も思わず立ち止まります



着物姿がすてきです



会場は真剣そのもの

### 第16回塚越地区生涯学習フェスティバル けやき荘会場の催し

●展示コーナー／25日～27日 午前10時～午後4時 俳句、書道ペン習字、水墨画、折り紙、俳画、手芸など ●催し物／25日 午前10時 健康体操、手話ダンス、民舞踊 26日 午前10時 茶道(野点)、民謡、童謡唱歌、詩吟、社交ダンスなど 27日 午前9時半 カラオケ発表会 問い合わせ＝けやき荘(☎441・0705)



夕焼け小焼けで 日が暮れて 山のお寺の 鐘が鳴る おてつないで みな帰ろう 明日もケヤキで 会いましょう



高齢者特集

「はい、大きく声を出しながら手を前に〜」。笑顔で汗を流す、健康体操教室の皆さん

## 仲間と過ごす 笑顔あふれる空間

～元気の源は、学び合い、触れ合い、楽しむこと～

### 老人福祉センターけやき荘

大きな松の木がそびえ立つ、手入れの行き届いた庭園。中庭からは、暖かい日の光がロビーを照らします。そして、あちらこちらから聞こえる笑い声…。市内にお住まいの、60歳以上のかたならどなたでも利用できる、老人福祉センターけやき荘(塚越5丁目)は、昭和60年の開設以来、生きがいづくりや仲間作りの場として親しまれています。16の団体が活動する、カラオケクラブをはじめ、健康体操や卓球、習字や民舞踊などのほか、初めてのカタでも気軽に参加できる講座が盛りだくさんです。「お友達と顔を合わせて、いっしょに体を動かすのが楽しみで」と話すのは、健康体操クラブ(上写真)の皆さん。「元気の秘けつは、大きな声で歌うことかな。ワハハ」と、利用者最高齢の加藤庄司さん91歳(右下写真)。そして、なんといっても、教室の合間にいただくお茶と、仲間との会話が、利用者の皆さん共通の楽しいひととき。ここ、けやき荘は、訪れた人を元気にしてくれる笑顔があふれています。ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。



運動をしながら、世間話に花を咲かせます



社交ダンスも盛んです



いぶし銀の美声を聞かせてくれます

# ご利用ください 福祉事業・制度

厚生労働省がまとめた平成20年の日本人の平均寿命は、女性が86.05歳、男性が79.29歳で、過去最高を更新しました。市では、皆さんが元気に暮らせるよう、各種事業を進めています。ここ6、7ページでは、高齢者の皆さんに役立つ福祉の事業や制度などをご紹介します。ご利用ください。

申し込み・問い合わせ  
介護保険室 ☎433・7756



みずほ公園(南町)でゲートボールを楽しむ皆さん

**給付・助成・融資など**  
●敬老祝金／9月1日現在で、歳市に引き続き1年以上住んでいる左表の年齢の人にお祝い金をお贈りします。

満年齢	金額
75歳	20,000円
77歳	20,000円
80歳	20,000円
85歳	20,000円
88歳	25,000円
90歳	30,000円
95歳	30,000円
99歳以上	50,000円

●福祉入浴サービス／65歳以上で自宅におふろのない人か、70歳以上で市民税非課税世帯の人 毎月4回分(7・8月は6回分)の公衆浴場の入浴券(1000円の自己負担あり)を差し上げます。  
●福祉美容サービス／70歳以上で市民税非課税世帯の人か、年5回分、理美容の割引券を差し上げます。自己負担あり。  
●徘徊高齢者等家族支援サービス／徘徊行動のある高齢者が専用端末機を携帯することで、家族が本人の居場所を確認できるサービスの一部を助成します。  
●介護サービス利用料軽減

●減助成／居宅及び地域密着型の介護(予防)サービスをご利用の市民税非課税世帯の人に、利用者負担の一部を助成します。  
●家族介護慰労金／介護保険の要介護4または5の認定を受けていて、介護サービスを利用している人を、在宅で介護している市民税非課税世帯の家族に、年額10万円を支給します。  
●老人居室整備資金／60歳以上の人と同居しているか、これから同居しようとする人が、高齢者専用の居室を備えた住宅を建築する際の資金融資を助成し、利子を全額助成します。

●民間賃貸住宅入居保障助成／70歳以上の独り暮らしか、配偶者の一方が70歳以上の夫婦世帯で、市民税非課税世帯の人が、市内の民間賃貸住宅を借りるときに保証人を確保できず、保証会社の家賃等債務保証制度を利用する場合に、初回保証料の2分の1(3万円まで)を助成します。  
●民間賃貸住宅家賃助成／70歳以上の独り暮らし

**お出かけください**  
●お年寄りを敬う会  
とき 19日(土) 午前9時～11時半  
部(午前9時半～11時半) 錦町・南町全地区・中央1、2、6、7丁目地区 午後2時半～4時半) 塚越・北町・中央3、4、5丁目地区  
ところ 市民会館 対象 77歳以上(昭和7年9月30日以前に生まれた人) 内容 式典(長寿者表彰、お祝いの言葉など) 歳少年少女合唱団による合唱や、塚越5丁目おはやし会の演舞など 詳細 介護保険室 ☎433・7756  
●マッサージプレゼント  
とき 7日(月) 午前10時(午前9時から整理券を配布) 内容 マッサージ師が1人15分程度実

●高齢者クラブ／おおよね60歳以上の人が入会できます。市内には29のクラブがあり、地域でさまざまな活動をしています。入会是最寄りのクラブへお問い合わせください。  
●歳市シルバー人材センター／おおよね60歳以上の人の就業をお手伝いします。会員制。問い合わせ 同センター ☎433・0962  
●地域包括支援センター／高齢者の皆さんが要介護状態にならないよう、予防対策をはじめ、保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士などが中心となり、介護・福祉・医療・

か、配偶者の一方が70歳以上の夫婦世帯で、市民税非課税世帯の人が、民間の賃貸住宅に住み、①月額1万円以上3万円未満の家賃を支払っている場合は、月額6000円、②月額3万円以上6万円以下の家賃を支払っている人は月額1万円を助成します。  
●介護予防のための住宅改修費を助成／手すりの取り付けや段差解消、扉や便器の取り替えなどの改修。対象 ①次のすべてに該当する人 ①65歳以上の在宅高齢者 ②介護保険制度で要介護・要支援に該当しない人 ③世帯全員が市民税非課税助成額 ④改修費用の3分の2で上限は10万円。  
●社会福祉法人等利用者負担軽減助成／介護サービスを利用中の市民税非課税世帯で生計が困難な人(条件あり)に利用者負担の一部を軽減します。  
●寝具乾燥サービス／65歳以上の市民税非課税の人で、寝具類の乾燥や消毒などをすることが困難

権利擁護などの支援をします。業務内容 総合相談・支援、権利擁護、介護予防ケアマネジメントなど ▼生活機能評価(無料) 対象 昭和19年3月31日以前の生まれで、現在、介護保険の認定を受けていない人 受診期間 10月31日まで(詳しくは、お配りした受診券を御覧ください) ▼実践認知症予防講座／脳内活性プログラム だれでもできて笑いたっぷり とき 10月29日(11月19日) 毎週木曜日 午後1時半(全4回) 対象 65歳以上の人 30人 北町公民館 問い合わせ 同センター ☎434・6721

## ほっと・エッセイ 24

### 新型インフルエンザに対する予防の徹底を

市長 頼高英雄

先日、厚生労働省は、新型インフルエンザが流行期に入ったことを宣言しました。全国的には、学校などでの集団感染の事例も増えています。歳市では、5月に新型インフルエンザ危機対策本部を設置し、相談窓口の設置や情報の収集・提供、マスク、消毒液など

の備品整備、公共施設への消毒液設置など必要な対策を講じてきています。今後、秋に向けて更に感染が広がることが懸念されておりますが、たいせつなことは、各家庭において、手洗い、うがいの徹底、睡眠や栄養をしっかりと取る、せき・くしゃみの症状があるとき

は外出を控え、マスクを着用し、人にうつさないようにするなど、インフルエンザに対する予防を徹底することです。学校での集団感染を防ぐため、児童生徒の皆さんには、毎日、登校前に検温し、健康観察票を提出してもらいます。また、妊娠中のかたや乳幼児、ぜん息

や糖尿病など基礎疾患のあるかたは重症化しやすいともいわれており、注意が必要です。行政として万全を期していきますが、家庭での予防の徹底をお願いいたします。

**お便りお待ちしております**

歳市役所  
秘書広報課広報広聴係  
〒335-8501 歳市中央5-14-15  
TEL 433-7703 FAX 445-0586  
E-mail hisho@city.warabi.saitama.jp

【広報】へのご意見・ご感想のほか、身近な楽しい話題や催しなど、どんな話題でもけっこうです。お便りお待ちしております。

な独り暮らしの高齢者や高齢者世帯に毎月1回(11月～3月は月2回)寝具乾燥車を派遣します。ただし、寝具の洗濯は年1回となります。  
●配食サービス／65歳以上の独り暮らしや夫婦世帯などで、食事の用意をするのが難しい場合、1食400円で温かい夕食をお届けします。  
●訪問美容サービス／介護保険の要介護4か5の認定を受けた寝たきりの人に、自宅で利用できる割引券を配布します。

●消防器が必要と認められる65歳以上の人に、購入費の一部か全額を補助します。所得税非課税の人は自己負担はありません。  
●歩行補助つえもらえます／歩行に常時つえが必要な65歳以上の人。  
●紙おむつがもらえます／65歳以上の人で、常時おむつを必要と医師が認める人か、常時おむつが必要で寝たきりの人。  
●福祉連絡システム／65歳以上で体が弱く、独り暮らしの人の自宅に、介護支援センターと直結した専用の機器を設置し、緊急通報によるホームヘルパーの派遣や救急車の要請、相談などのサービスが受けられます。

**充実した毎日を**  
●老人福祉センター／松原会館(錦町3丁目)と②けやき荘(歳市塚越5丁目)は市内在住の60歳以上の人が利用できます。健康体操や俳句などの講座で教養を広げながら、友達作りもできます。問い合わせ ①同館 ☎433・6542 ②介護保険室 ☎433・7756  
●老人憩いの家／交流プラザさくら内にある「みつわ苑」(南町2丁目)は60歳以上の人が利用できます。囲碁・将棋のできる娯楽室などがあり、多くの催しも開かれています。詳細 交流プラザさくら ☎432・7271

●高齢者クラブ／おおよね60歳以上の人が入会できます。市内には29のクラブがあり、地域でさまざまな活動をしています。入会是最寄りのクラブへお問い合わせください。  
●歳市シルバー人材センター／おおよね60歳以上の人の就業をお手伝いします。会員制。問い合わせ 同センター ☎433・0962  
●地域包括支援センター／高齢者の皆さんが要介護状態にならないよう、予防対策をはじめ、保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士などが中心となり、介護・福祉・医療・

権利擁護などの支援をします。業務内容 総合相談・支援、権利擁護、介護予防ケアマネジメントなど ▼生活機能評価(無料) 対象 昭和19年3月31日以前の生まれで、現在、介護保険の認定を受けていない人 受診期間 10月31日まで(詳しくは、お配りした受診券を御覧ください) ▼実践認知症予防講座／脳内活性プログラム だれでもできて笑いたっぷり とき 10月29日(11月19日) 毎週木曜日 午後1時半(全4回) 対象 65歳以上の人 30人 北町公民館 問い合わせ 同センター ☎434・6721

●趣味の高齢者作品展  
とき 16日(20日)の正午まで ところ 中央公民館60歳以上の皆さんがご自身で作成した書道、俳句、絵画、写真などを多数展示。詳細 介護保険室 ☎433・7756  
●塚越プラチナ学園  
仲間を作って楽しく学ぶ場。とき 第1、第3月曜日 午後1時半～3時  
ところ 老人福祉センター 1ヶやき荘 対象 65歳以上 年間15000円 申し込み 東公民館にある申込書と参加費を添えて直接同館 ☎442・4052へ。

### 未来を担う子どもたちの「わらび子ども宣言」

- 一 一人に優しく 相手の気持ちを大切にします
- 二 ありがとう 感謝の気持ちを大切にします
- 三 将来のためにすすんであいさつします
- 四 将来のためにすすんで学びます
- 五 みんなと仲良くし 友達の輪を広げます
- 六 命を大切にし 心も体もたくましくなります
- 七 わらびの未来を私たちがつくります

## まちの話題

「青少年健全育成をすすめる蔵市民大会」が7月25日、市民会館で開催されました。この大会は、毎年、家庭・学校・地域がともに力を合わせ、市民総ぐるみで、青少年健全育成を推進することを目的に行われています。今回は、市制施行50周

年を記念して、「わらび子ども宣言」を制定。宣言文は、市内7つの小学校の代表者、各2名が元気に読み上げました。「このような蔵の子どもになります」という子どもの誓いと「このよう

な蔵の子どもに育ってほしい」という大人の願いが込められたこの宣言。蔵の近代教育の礎を築いた先人の教えを基に、未来を担う蔵の子どもたちが、心身ともに健やかに育ち、社会の模範となる人格をはぐくめるよう、市では「わらび子ども宣言」をたいせつに、まちづくりを進めていきます。

7月31日、市民公園を会場に、「平和の灯籠作り」が東公民館の主催で開催されました。「戦争のない社会」「みんな仲よし」など、参加者の約50人は、牛乳パックの手作りとうるうにメッセージを書き、「だれもが笑顔で暮らせる世界を祈りながら、うるそくをともしました。

### 平和願うとうろう作り



7月31日、市民公園を会場に、「平和の灯籠作り」が東公民館の主催で開催されました。「戦争のない社会」「みんな仲よし」など、参加者の約50人は、牛乳パックの手作りとうるうにメッセージを書き、「だれもが笑顔で暮らせる世界を祈りながら、うるそくをともしました。

### 夏の風物詩「機まつり」



8月7日、錦町児童館でダンボールや牛乳パックなどで作る「ロボットコンテスト」が開かれました。参加した児童23人は、色を塗ったり、紙でかたどった花や星などを付けたりして、自分だけのロボットを作製。完成後は一人ずつ発表し、みんなが表彰されました。

### ダンボールのロボット



市民会館を主会場に、サマーパークフェスティバル、第43回青少年まつりが、8月23日に開催されました。日ごろ青少年の健全育成を進める25団体の協力の下、キンギョすくいやサイエンス教室、太鼓演奏などが行われ、訪れた約4000人は楽しみながら交流を深めました。

### 愛・夢・希望育てる祭り



防災意識を高めようと、8月23日、第二中学校で、総合防災演習が開かれました。震度6の地震を想定して、避難訓練や消火訓練、放水訓練など25種目が本番さながらに行われ、参加した1250人は、日ごろの備えと、地域での助け合いのたいせつさを再確認しました。

### まちをあげて防災演習



### 情報ダイヤル

掲載は無料。申し込みは秘書広報課 ☎433・7703へ。

- ▼「参加しませんか」
  - ▼カンフー(中国武術)体験 10月3日・10日 午前11時 市民体育館 4歳〜12歳(親子の参加可) 参加費 2回で1000円(小学生以下無料)
  - ▼蔵中東カンフークラブ・吉田 ☎090・9812・6620
  - ▼(仲間になりませんか)
    - ▼南園基クラブ 火曜日 午前10時 南公民館(井上) ☎442・0259
    - ▼中央ニハオ校(中国語学習) 月4回 土曜日 午前10時 中央公民館 月2000円(小出) ☎445・8600
    - ▼南町ニハオ校(初歩的な中国語会話の学習) 月4回 月曜日 午後1時45分 南公民館 月2000円(木村) ☎443・6137
    - ▼ローズサークル(フランス刺しゅう・手芸一般) 第1・3金曜日 午前10時 中央公民館 月1500円(古田) ☎445・2180
    - ▼楊名時(太極拳) 土曜日 午後2時半 蔵駅東口駅前 ラ・セーヌビル 月4500円(浦島) ☎24・5915
    - ▼(相談ください)
      - ▼蔵断酒新生会(酒害相談) 1日 中央公民館 16日 南公民館 24日 旭町公民館 いずれも午後6時半(岡田) ☎44・3172

レポート そこが知りたい

〈65〉

# 駅西口公共公益施設の愛称募集

来月10月、駅西口に3階建ての公共公益施設が完成する予定です。まちの顔として多くの人から愛され親しまれるとともに、活気に満ちたにぎわいづくりの拠点となることを願って、施設の愛称を皆さんから大募集。すてきな名前をお待ちしています。



### 施設は来年10月開設

蔵駅西口地区7番街区に、市民の皆さんだれもが利用できる3階建ての公共公益施設(上下イメージ図を参照)が、来年10月に誕生する予定です。そこで、市ではこの公共公益施設の愛称を市民の皆さんから募集します。応募の要領は最後にご案内することにして、まずは、皆さんにすてきな愛称が浮かぶように、施設の概要をお伝えします。

### 人が触れ合う拠点に

再開発により生まれ変わる7番街区は「たたずむ」がテーマ。幅広い世代の人たちが触れ合い、そのなかで、新しい発見や出会いが生まれ、この場所にずっと居たいと思えるような空間づくりを

目指しています。公共公益施設は、そんな温かな触れ合いを生み出す重要な拠点となります。

**多様な市民活動支援**

1階部分は主に公民館施設となります。ギャラリーとしても利用できる集会室や、茶の湯も楽しめる和室など、学びや集いに欠かせない部屋が整備されるほか、プロムナードが見渡せるような、オープン感覚の調理室などを備える予定です。

2階部分は働く女性や共働き家庭など、子育て中の皆さんを応援する民間運営の保育所です。駅を利用して通勤する人たちにとって利便性が高く、2階に配置することで、子どもたちの安全性も高いものとなっています。実際に保育所としての

運営が始まるのは、平成23年4月からの予定です。3階部分は、最大定員180人の舞台を備えた、市民の文化・芸術活動などの発表の場として活用できる文化ホールです。基本的には、有料の貸し出し施設として、音響や照明などの設備を整え、演劇や音楽発表会などのできるホールとして整備をする予定です。市民の皆さんの活動の幅が更に広がります。

その他、屋上は緑豊かな保育所専用の庭として活用する計画です。駅のそばにありながら、太陽の下で安全に、安心して遊ぶことができる広場となります。

市民の皆さんの生活や生涯学習などの多様な活動を応援する公共公益施設。皆さんからのすてきな



な愛称をたくさんお待ちしています。

**募集は今月30日まで**

応募条件 ①市民の皆さんに覚えやすく親しみやすいもの ②漢字・ひらがな・カタカナ・アルファベット・数字のいずれかを使用 ③字数制限なし ④コンセプト記載 ⑤自作で未発表の作品(著作権は蔵市に帰属)

応募 30日までに住所、氏名(ふりがな)、年齢、職業(学校名)、電話番号、作品とコンセプトを記入の上、はがき(必着)かファクシミリ、Eメールで提出(1人3点まで応募可) 発表 受賞者には、12月末までに通知

※賞金あり。採用作品は、『広報蔵』や市ホームページなどで発表します。

応募先・詳細 政策企画室(中央5-14-15) ☎433・7698 ☎432・7992 Eメール seisaku@city.warabi.saitama.jp

※応募者の作品、氏名、住所などの個人情報につきましては、作品選定などの目的以外には、いっさい使用しません。

# わが家のアイドル



アイシャ真李ちゃん (3歳9か月)

ハサン章聡ちゃん (1歳7か月)

バット アベードラさん  
田中 バット 沙織さんの  
二女・長男  
塚越2丁目

「夫はパキスタン、私はブラジル出身と、我が家は国際色豊かです。2台あるテレビからは、1台はパキスタンのニュース番組が、もう1台からはブラジルの幼児向け番組がいつも流れています。この番組の歌のお姉さんが、章聡は大好きで保育園から帰ると『見せて〜』とばかりに、身ぶり手ぶりでせがみます。一方、真李は日本のアニメに夢中。お気に入りのヒロインになりきって遊んでいます。そんな真李は最近、おしゃれに目覚め、髪型や服装など朝の支度には手を焼くように。と同時に、お姉ちゃんの自覚も出始め、6歳の長女、愛菜といっしょに家事の手伝いや章聡の面倒を見てくれるので、頼もしくも感じます。今後の成長が楽しみです」と、母親の沙織さん。

赤ちゃんが産まれたら出生連絡票(母子健康手帳の最後のページに付いているはがき)をお送りください。※出生届提出後、地区の訪問指導員が訪問日程の調整などの連絡をします。

とき	対象地域
10月6日(火)	北町・中央5~7丁目
7日(水)	塚越
8日(木)	錦町・中央3・4丁目
9日(金)	南町・中央1・2丁目
予備日 11月6日(金)	全域

※受付時間=午後1時20分~2時半  
※持持物=予診票、母子健康手帳  
※体温は当日、会場で計ります

とき	対象	内容
9月 4日(金)または 9日(水)	平成21年5月 生まれの第1 子の保護者	母乳食の上と 進め方、試食 なり方、
10月 2日(金)または 27日(火)	平成21年6月 生まれの第1 子の保護者	

時間=午前9時45分~11時45分  
ところ=保健センター  
託児=先着10人 持持物=母子健康手帳、筆記用具、託児を希望される人はパスタオル、ビニール袋(おむつ持ち帰り用)、ほか必要な物

とき	対象児	受付時間・ところ
4か月児健診	16日(水) 17日(木)	平成21年 4月生まれ 午後1時~ 1時45分 保健センター
1歳6か月児健診	8日(火) 9日(水)	平成20年 2月生まれ 午後1時15分 ~2時 保健センター
3歳児健診	11日(金) 18日(金)	平成18年 8月生まれ 午前10時~ 10時半 保健センター
4歳6か月児健診	15日(火)	平成17年 2月生まれ
1歳児相談	16日(水) 17日(木)	平成20年 8月生まれ

# いよいよ始まる エレベーター設置工事 今年度は駅西口に



親と子の  
ニュースの  
小窓

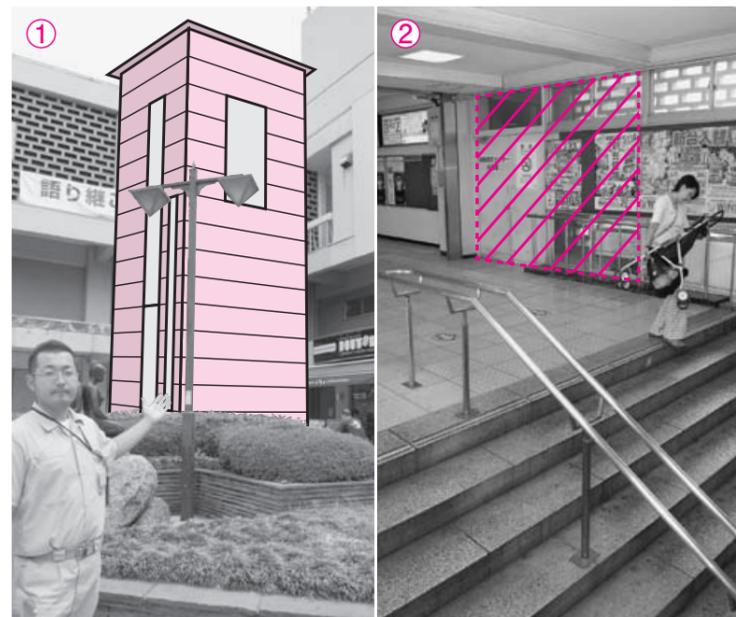
だれもが健康に暮らせるまちづくりを進める「あったか市政」では、蕨駅のエレベーター設置に向け、昨年度的设计に続き、今年度は設置工事を実施します。今月は、9月下旬に始まる駅西口設置工事について、道路公園課の内田幸之介技師に伺いました。

ワラビ やつぱり駅には人が多いいね。蕨駅は1日に11万8000人くらい利用するそうよ。ワラビ 電車を使う人以外にも、東口と西口を歩き来する人がいるからね。内田 やあ、ワラビ君。ワラビ こんにちは。もうすぐ、おばあちゃんが来るから、荷物を持ってあげようと思うんだ。内田 感心だね。駅にはエスカレーターがあるけれど、上りだけだからね。お母さん そういえば、駅にエレベーターが付くって聞いたのですが…。

## 車いすなども安心の貫通型11人乗り

ワラビ どんなエレベーターが付くの。内田 大きさは、幅1.40メートル、奥行き1.35メートル、高さ2.40メートルで11人乗り。特徴は、貫通型とあって、乗った方向のまま降りられるタイプのエレベーターが付く予定だよ。

今月開始の工事に「ご理解とご協力」を  
内田 はい。駅のエレベーターは、昨年度に設計が終わり、今年度は県補助とJRの負担(3分の1)を合わせ、約7000万円を西口に設置します。工事は今月下旬から始まり、来年3月に完成予定です。お母さん いよいよですね。ところで、エレベーターはどこにできるんですか。内田 外が彫刻のある花壇の辺りで、駅の中が階段を上がった右側のところに出来ます。工事中は、通りが狭くなったりしますので、皆さんにはご協力をお願いします。



自由に外出でき、社会参加できる環境を整備しようと、駅のエレベーターの設置を進めています。ワラビ 東口は？内田 東口は来年度に設置する予定だよ。また、現在、市が費用の一部を補助し、JRはホーム内にエレベーターを設置する工事を進めているんだ。お母さん ホームから東口の駅広場までバリアフリー化が進み、みんなが利用しやすい駅になりますね。おばあちゃん ワラビ。ワラビ あっ、おばあちゃん。今度駅にエレベーターが付くんだよ。それなら僕、もっとたくさんお土産持ってあげるね。お母さん 荷物よりお土産なのね…。健康のためにも、なるべく階段よ。ワラビ はいっ！



50周年記念事業

## まだまだ募集中！ 「極楽亭」観覧希望

毎週土曜日の午後7時半からNHKラジオ第一で放送している「今夜も大入り 渋谷 極楽亭」の公開録音を蔵で開催。観覧希望者は、次の要領でお申し込みを(入場無料)。とき=10月7日(水) 午後6時半開演 ところ=市民会館



林家木久蔵 柳家喬太郎 森口博子

申し込み=往復はがきの「往信裏面」に郵便番号、住所、氏名、電話番号、「返信表面」に郵便番号、住所、氏名を書き、10日(郵送必着)までに市民会館「極楽亭」係(中央4-21-29)※応募多数の場合は抽選の上、入場整理券(1枚で2人まで入場可)を送付。※1歳以上のお子さんから入場整理券が必要です。転売を目的とした申し込みは固くお断りします。放送日=11月14日(土) 午後7時半から全国放送 問い合わせ=市民会館(☎445-7660)

## わらび音頭のCD 今月1日から販売

市制施行20周年を記念してレコード制作されたわらび音頭。以来、町会のお祭りや学校行事などで市民の皆さんに親しまれ、蕨の文化としてすっかり定着しています。そんなわらび音頭を、「より使いやすく、後世にと、この度、CD化し販売することになりました。販売=今月1日から市役所3階政策企画室 価格=500円 問い合わせ=同室(☎433-7698)

## 赤ちゃんメモ

プレママ講座/妊娠中のママたちへ/10月29日(木) 午後1時半 産婦人科医師による妊娠・出産のお話、先輩ママとの交流会 ※申し込みはお電話で。 離乳食講習会

とき	内容
9月 7日(月)	妊婦 歯科健診・保健
10月 5日(月)	妊婦 歯科健診・保健
14日(月)	食生活・赤ちゃんの育て方
26日(土)	お産の経過・沐浴実習

時間はいつでも 午後1時半~4時

乳幼児健康診査・相談 持ち物=母子健康手帳、問診票 ※対象月に受けられないときは翌月でも受けられます。

予防接種ポリオ生ワクチン 接種前に「予防接種と子どもの健康」を必ずお読みください。対象=平成20年7月~21年6月生まれ(※2回の接種が済んでいない子) ※対象年齢を過ぎても90か月未満まで受けられます。

# 輝いていまひと

フレンドゴルフクラブ会長

えがわ よしお  
**江川 好雄** さん



ゴルフで深める人とのきずな

**ナ** イスショット！と声をかけると、「いや、へたなんですよ」と恥ずかしそうに話す江川好雄さん（南町1丁目在住）。ホールインワンも出したことがあるというそのスイングは、とても82歳に思えないみごとなもの。それは月に2回、仲間と近所のゴルフ練習場へ12年間通い続けているたまものです。

もともとは、70歳まで映画のカメラマンとして日本各地や海外を飛び回り、家にいるのが1年間で約2か月という仕事人間。フリーのほか、東映や学研などに所属して撮影した教育映画は、歴史や生物、地理など1000本以上。その数々の作品は、教育分野で顕著な活躍や成果を挙げた人に贈られる文部大臣賞（当時）を何度も受賞されています。退職後は、家でごろごろ過ごす日々。そんなとき、健康を気遣った家族からゴルフセットをプレゼントされ、第二の人生が始まります。その後も家族に勧められ、南公民館のゴルフ講座に参加。気の合う仲間と出会い、講座終了後には同じメンバーで「フレンドゴルフクラブ」を設立。現在は、会長として大正生まれから昭和30年代までの24人をまとめ、みんなの信頼に応えています。「会長は頼りになるお父さん。安心感があるんです」と同クラブの鴻池さん。スコアを競わず、仲間とわいわい楽しむ江川さん流ゴルフが浸透しています。人に喜んでもらう仕事を経て、今、江川さんは温かな家族や仲間と、人生のナイスショットを誇らかに打ち続けています。

## ぷらっと・わらび・小さな旅

### 「富士見公園」

西ルート25番の停留所「富士見公園」で下車すると、緑に覆われた野球場が目の前に広がります。市内で2番目の大きさの富士見公園には、ナイター設備のある野球場があり、ここは昨年1万6222人が利用した人気の施設です。現在、その野球場の北側道路で長さ約110m、幅

12mにわたって工事をしています。この辺りは比較的低地であるため、道路を約30〜50cm高くしています。また、ここには、テニスコートがある富士見第2公園や錦町スポーツ広場、郷南公園などがあることから、市民の皆さんや施設利用者が安心して歩けるように、幅約3mの歩道も両側に整備します。工事が終わる9月下旬までの間、車の片側通行や歩行者に迂回をいただくなど、ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。

また、ここには、幅約3mの歩道も両側に整備します。工事が終わる9月下旬までの間、車の片側通行や歩



## わらびの野鳥・虫・草

### ヒキガエル

8月下旬、セミの羽化を見ようと城址公園へ。懐中電灯を照らしながら歩いていると、足元に体長14cmほどのヒキガエルがいました。全身にイボがあるのがイボガエルとも呼ばれる夜行性で動作が鈍く、多くのカエルのように跳ねません。舌だけを伸ばして昆虫などを食べます。試しにカメラを向けても逃げずに、シャッターを切る度に、体の向きを変える様子は、まるでポーズを取っているようでした。でも、しまいには撮影に嫌気が差し、茂みの中へと、のそのそと消えていきました。